

# よこすか ライフプランナー通信

## NEWS 全国初「農福連携」スタート!



横須賀市議会議員・よこすかライフプランナー

# 野次郎 洋次郎

生まれも育ちもハイランド/  
粟田小学校・関東学院六浦  
小中高・関東学院大学卒業/  
住宅メーカー・生命保険会社  
勤務/横須賀青年八日会会長  
歴任/自由民主党神奈川県  
横須賀市連合支部青年局長/  
41歳/A型ヤギ座

横須賀でくらす人のために。  
教育には、もっとできることがあります。  
医療にも、もっとできることがあります。  
じつは問題いっぱい横須賀ですが、  
可能性いっぱい横須賀と考えたい。  
横須賀には、できることがまだまだある。  
横須賀にしかできないことが、たくさんある。  
「ヨコスカ最高!」と、住む人が思えるまちへ。  
住宅メーカーと生命保険会社で  
たくさんさんの人生と向きあってきた経験をいかし、  
「よこすかライフプランナー」として、  
地元横須賀のまちづくりに尽くしていきます。



横須賀の  
可能性を  
考える

### 横須賀の可能性のヒントを求めて、 自治体・団体・企業にお話を聞きました。

#### 【福祉・健康】

〈藤沢市／高齢者福祉サービス・株式会社あおいけあ〉  
「認知症になっても自分らしく生きる」がテーマ。  
カフェやレストラン、駄菓子屋に「近所の方や  
学生が立ち寄り、みんなで商品を作って売る。  
施設の利用者は生産者として価値と喜びを創造。  
これからの介護のキーワードは「地域との共生」とのこと。



〈横須賀市／集団フツ化物洗口・市立保育園〉  
フツ素の水溶液で1日1回30秒の「ぶくぶくうがい」をする  
むし歯予防法を実践中。  
幼少期に行うことで大人になってからむし歯に  
なる確率が激減するデータも。  
口腔衛生環境は認知症のリスクとも関係がある。  
人生100年時代。健康寿命を延ばすために、  
もっと広める必要がある取り組み。



〈文京区／ボディソニック体験・パイオニア株式会社〉  
振動を使うことで聴覚障がいの方が  
音を認識できるシステムを体験。  
「今まで何年も忘れていた音楽を聞くことができた」  
と体験者の方々。あの笑顔を横須賀にも!



#### 【教育・子育て】

〈川崎市／思考力の育成を重視した授業づくり・  
市立東菅小学校〉  
毎日の授業で、今後社会でぶち当たる壁を乗り越えるための  
思考トレーニングを学ぶ子ども達。  
その主体的な姿はビジネススクールにいるかのよう。  
チャイムもない。皆が自主的に授業の準備を始め、  
皆が手を挙げて参加する。  
授業は自分の力を発揮できる舞台。  
公立小学校の可能性を感じさせられる。



〈相模原市／本格的にバイリンガルを育成する・  
LCA国際学園〉  
国語以外の授業、ホームルーム、給食の時間などを  
全て英語で行なっている(高学年は半々)。  
小学一年生の英語コミュニケーションに驚愕!  
市外から通う児童が半数以上で、  
年間何組かの家族が相模原市に転入してくる。  
教育の魅力は転居の大きな理由になる!



〈中野区／NPO法人による小学生と幼児対象の  
全日制スクール・東京コミュニティスクール〉  
探求型の授業を実践している。  
子どもは小さいうちは身体的にできる  
ことは限られているが、  
大人が思っている以上に  
理解ができていく。  
上質な情報と考える機会を提供し、  
能動的に動けるきっかけを  
大人が提供することが大切。



#### 【アート】

〈お台場／エプソンチームラボポータル〉  
自分が描いた魚が壁を泳ぎ回ったり、  
人に触られると逃げたり、  
動きがさまざまに変化。  
来訪者の約3割は外国人。横須賀には  
YRPというデジタル作品の土壤がある。  
トンネル日本一というキャンパスも、  
横須賀美術館をはじめ素敵な場所もたくさんある。  
まさに可能性の宝庫。



#### 【スポーツ】

〈大田区／ベンチャースポーツ体験・  
大森ふるさと浜辺公園〉  
平日の昼間もビーチテニスのコートは満員。  
国内であまり知られていなくても、  
海外では盛んに行われているスポーツは  
たくさんある。そんなスポーツを盛り上げ、  
横須賀から未来の日本代表を。  
ベンチャースポーツの新たな可能性をまさに体感。



#### 【経済・産業】

〈藤沢市／関東初の農家レストラン〉  
国家戦略特区を活用して農用地に建てられた。  
地元の食材を50%以上使うビュッフェ。  
メニューは事前には決まっておらず、  
その日に入荷した食材で決まる。  
特区としての要件の厳しさや細かい  
手続きなど現場での声や課題も  
教えていただいたが、  
農業の新たな可能性も感じた。



高齢福祉サービスあおいけあさま、横須賀市立保育園の皆さま、パイオニア株式会社の皆さま、川崎市立東菅小学校の  
皆さま、LCA国際学園の皆さま、東京コミュニティスクールの皆さま、エプソンチームラボポータルポータルポールの皆さま、ベンチャー  
スポーツを教えてくださいました皆さま、藤沢市農家レストランいぶきさま、お忙しい中貴重なお話を有難うございました。



## 全国初の大規模プロジェクトが実現しました。

## 障がい者の皆さんに働く場を。農家の皆さんに労働力を。

横須賀市とパーソルサンクス株式会社との農業と福祉の連携推進に関する包括連携協定が締結されました

農業分野に障がい者が就労する「農福連携」が横須賀市で実現しました。特例子会社と自治体との協定は全国初！長年に開設された事務所を拠点に、社員として採用された障がい者が三浦半島にある請負先の農園に出向き、収穫や出荷などを手伝っています。農家の方は「とても助かっている。指導者の方が一緒なので自分たちがその場になくても作業が進んでいるのがすごい」とのこと。担い手確保だけでなく、生産性の向上や耕作放棄地を減らすことにも期待できそうです。農福連携は始まったばかり。現場に何度も足を運び、課題を伺い、解決策を探るとともに、今後のさらなる広がりを皆さんと一緒に考えていきます。



### 横須賀市議会で提案しました。

### 子どもたちの放課後に付加価値を！「地域や文化活動団体などとの関わりを通じた明日の横須賀を担う子どもたちの育成」について提案しました。

● 市では「放課後子ども教室」の取り組みを進めています。小学生の皆さんが、放課後、学習やさまざまな体験、活動を行う「放課後子ども教室」。2021年度までに6つの小学校での実施を目指し、本年度2校目が開設しています。

● 提案しました！  
「地域の大人たち皆で地域の子どもの育てる」横須賀へ。文化活動団体などの方々に「放課後子ども教室」でご指導いただき、教室の活動の幅を広げていけたら。「放課後子ども教室」は将来の担い手の育成の場にもなるはず。

● 背景には次のような想いがあります。  
文化芸術、伝統芸能、歴史、お祭り、手作り工芸品など、横須賀には素晴らしい文化がありますが、興味を持つきっかけに乏しいのが実情です。多くの団体の悩みは高齢化と承継問題。子ども達は、核家族化が進み人生の先輩方から学ぶ機会が減っている。「放課後子ども教室」で文化活動団体などと子ども達が繋がったら？横須賀の子ども達には上質な体験を。ご高齢者にはやり甲斐と生き甲斐を。そして興味を持った子ども達がいずれ後継者に！



● 市長から前向きな答弁をいただきました。  
非常に前向きなご答弁と、何度も「同感です。」とお言葉をいただきました。そして関係部局や文化活動団体の方との打ち合わせを設定してくださいました。動き出しました！

● そして、いま思っています。  
学習塾が英語やプログラミングを教える新しい学童保育に力を入れ始めるなど、放課後の過ごし方は注目されています。子ども達の放課後の価値を高めるため、これから動いていきます。



### 18歳人口が減少するなかでの採用のあり方は？「明日の横須賀を担う職員の人材確保」について提案しました。

● 世の中の動きは…就活ルールが廃止。  
経団連の中西会長が従来の就活ルールを廃止する意向を表明し、政府主導でルール化が図られることに。就活ルールは民間企業（経団連会員企業）が対象ですが、人材の確保という点では自治体も同様。大学進学や就職の年齢でもある18歳人口が今の約120万人から2030年ごろには100万人を割り込むとの推計もあり、市内の企業の人材確保も厳しくなってきます。横須賀市役所も例外ではありません。

## 田中洋次郎の「提案」

何かあれば、僕に言ってみてください。目の前の課題はもちろん、明日の横須賀にも目を向け、よこすかライフプランナーとして皆さまからの意見に耳を傾けながら、動き、解決し、提案していきます。

### ● 提案しました！

市役所の人材を確保するために、広報やインターシッピングの工夫、採用辞退者防止のための試験日程の工夫、内定後の働きかけ、市長の発信力を活用した情報発信などについて取り組むべきではないか。



### ● 背景には次のような想いがあります。

市役所が人手不足になったら、私たちの日々の暮らしに影響が出る。課題が山積する横須賀市において、これは市役所だけの問題ではなく市全体の問題です。以前、民間企業で採用を担当していた経験から、戦略的かつ積極的な採用計画が必要だと考えています。

### ● 市長から前向きな答弁をいただきました。

「これまで不十分だった。横須賀が求める人材像を明らかにし、取り組みを見直しながら未来の輝く人材を確保していく」という、心強く前向きな答弁をいただきました。

### ● そして、いま思っています。

これまで不十分だったということは、伸びしろしかないということです。「地方公務員になりたい」から「あの横須賀で働きたい」へ。民間企業の事例を研究し、まずは横須賀市役所における効果的な方法を職員の皆さんと一緒に考えていきます。

### すぐに動きます。とにかく動いてみます。

#### バス待ちの列が点字ブロックの上まで広がり…

「駅前バス停が朝とても混んでいて、点字ブロックの上まで人が並んでしまっている。点字ブロックを頼りに歩く方が困ってしまうのではないだろうか。」とのご相談。早速、市の関係部局から京浜急行バスに伝えていただき、注意喚起の貼り紙と、係りの方がローテーションで見回りをさせていただけることに。



#### 浦賀のポンポン船、土日の運行状況が分からず…

約300年前からある東浦賀と西浦賀をつなぐ渡し船、通称ポンポン船。観光客にも大人気！航路はなんと市道だから土木部の管理。ある地元思いの方からご相談がありました。「ポンポン船が運航しているかどうか、土日はここまで来てみなければ分からなくて観光客がかわいそうだ」と。確かに、役所が休みの日はホームページでも分からない状況。市役所の担当課に相談したらすぐに対応。常に欠航状況がわかるツイッターがスタート。



#### お祭りで山車が通る道に穴が…

それは数日後にお祭りを控えたある日。「山車が通る道に穴があいている。もし山車が気付かずに通ったら大変！」とのご指摘がありました。早速、市の関係部局に相談。お祭りに間に合うようにと、何と即日修理、そして完了。お祭り当日、山車を引く子ども達の声で街はにぎわいました。



## 市政の動き

### ○医療・健康・福祉

うわまち病院の移転・建替え方針を決定。  
本市は現在「うわまち病院」と「市民病院」の2つの市立病院を開設していますが、今後も2つの病院体制を維持していくこと、老朽化した「うわまち病院」は移転し建替えるという方針が決定。

「横須賀市がん克服条例」案が可決。  
条例案が可決されたことを受け、中学2年生を対象にピロリ菌感染の有無をチェックする検査を実施する方針が市長から示される。ピロリ菌は胃がんのリスクを高めると言われており、対象者全員に全額公費で実施することはとても意義深いです。

「わたしの終活登録」開始。  
万一のときに本人の意思が実現されるよう、終活ノートの保管場所やお墓の所在地などの「終活関連情報」を事前に登録し、必要となった際に病院・消防・警察・福祉事務所や本人が指定した方に情報を開示する制度。平成30年5月より開始。

### ○教育・子育て

(仮称)中央こども園2022年度開園へ。  
老朽化した上町保育園と鶴が丘保育園を統合し、中心市街地での子育て支援拠点の機能強化を図るため、新港町の「よこすかポートマーケット」駐車場敷地の一部に(仮称)中央こども園を2022年度の開園を目指し整備する計画が明らかになりました。

市立中学校3年生の英検3級検定料全額助成。  
英語学習に対する意欲の向上を目指して、2021年1月から実施される「大学入学共通テスト」では、4技能(読む・聞く・話す・書く)が評価されることや、民間の資格・検定試験を利用することもできるようになります。

### ○エンターテインメント

ヨコスカ街なかミュージックがスタート。  
常に音楽にあふれた、ワクワクする街づくりを進めていく取り組みがスタート。市と事業者やアーティストの皆さんの協力で、音楽で街が盛り上がっていくことが大いに期待されます。

### ○インフラ

横浜横須賀道路にスマートインターチェンジ整備。  
横須賀パーキングエリア付近で、まずは上り線からETC専用のインターチェンジの整備が進められ、横横道路と市道坂本芦名線が連結。国道357号の延伸と併せ、流通や経済を活性化し、市民の皆さんの利便性を向上する取り組みが動き出しました。

